

# 福島の子どもたち、遊びにおいで!

福島の子どもたちに、のびのび遊んでもらおうという「福島の子ども保養プロジェクト(コヨット!)」。全国の生協が企画し、子どもたちを招きました。

## 福島の子ども保養プロジェクト in 新潟 ～思いきり自然と遊ぼう!～ 「五頭連峰少年自然の家3日間」(7月26～28日:新潟県生協連)

(担当者より) 福島在住および、福島から新潟に避難している小学生を対象に、自然とふれあいながら楽しんで、お互いの心の通い合いに役立てればと企画しました。参加した31人の子どもたちは、しめ飾り作りや色々なゲームで交流していました。3日目、子どもたちは仲良くなった友達とのお別れがちょっと寂しかったようです。



## 福島の子ども保養プロジェクト in 富山

### 「富山県氷見市で日本海の夏の海を楽しもう」(7月28～30日:富山県生協連)

(担当者より)「日本海の夏の海を楽しもう!」という、親子がリフレッシュできる交流を企画しました。参加した福島県内4家族16人は、海水浴、魚釣り、地引き網、海岸での花火などを楽しみました。「久しぶりに長時間思いっきり楽しく遊びました」という声や、終わりの式での「富山は最高!」という子どもの感想に感激しました。

## 福島の子ども保養プロジェクト in 神戸

### 「神戸・よしまキャンプ」(7月29日～8月2日:コープこうべ)

(担当者より) コープこうべは神戸YMCA、兵庫県ユニセフ協会と協同で、福島県内に住む小学4～6年生30人(男子22人、女子8人)を香川県小豆島近くの無人島、余島にある「神戸YMCA余島野外活動センター」に招待。海水浴・カヌー・アーチェリー・海釣りなどといった野外活動でのびのび遊び、元気いっぱいに過ごしました。

## 福島の子ども保養プロジェクト in 関西

### 「かんさい」(7月31日～8月5日:奈良県生協連、コープしが、ならコープ、大阪府生協連)

(奈良県の担当者より) 福島の子どもたちに、のびのび遊んでもらおうと、コープしが、ならコープ、奈良県生協連、大阪府生協連が協力して企画を実施しました。49人の子どもたちが参加し、滋賀、奈良、大阪を回り、夏休みの6日間を関西で過ごしました。

奈良では、県立野外活動センターで、カレーや焼きそばをお腹一杯食べ、キャンプファイヤーを楽しみました。翌日はフィールドアスレチックで体を動かし、大和郡山名物の金魚すくいも楽しみました。奈良公園では多くの鹿に圧倒されながらも、初めて見る鹿と楽しく遊びました。



## 福島の子ども保養プロジェクト in 秋田

### 「親子で行く秋田なまはげツアー」(8月1～3日:コープあきた)

(担当者より) 秋田の自然と文化に触れてもらおうと、「男鹿の海となまはげ」をテーマに企画しました。秋田の子どもたちにとって「なまはげ」はとても怖い存在ですが、実物が登場すると、とても喜んで記念撮影するなど、福島の子どもたちには大人気でした。

## 福島の子ども保養プロジェクト in あおもり

### 「コープあおもり ねぶたツアー」(8月2～3日:コープあおもり)

(担当者より) 青森の郷土文化に触れてもらおうと、「青森ねぶたツアー」を企画しました。ツアーに参加した子どもたちは、生協ねぶたのハネトとして参加!おはやしが流れ始めると「ラッセラ～ラッセラ～」と地元の人たちに混じって大声を出して跳ねて楽しみました。「見るだけでなく、衣装を着てハネトとして参加でき貴重な体験ができた!」と参加された親子は大変喜んでいました。翌日は、浅虫海岸で海水浴、スイカ割りも行ないました。



# 福島の子どもたち、遊びにおいで!

放射線量の低い地域で、のんびりしてもらおう、という「福島の子ども保養プロジェクト」(コヨット!)。全国の生協が企画をし、子どもたちを招きました。(開催順に紹介します)

**福島の子ども保養プロジェクト in さっぽろ「北海道へ遊びに行こう! 夏休み大自然北海道ツアー」**(7月22~26日、24~28日、7月30日~8月3日、8月17~21日: コープさっぽろ)

(担当者より) 北海道の自然や空気を満喫してもらおうと、北海道ユニセフ協会・東川農協と協力して企画を実施しました。企画に関わる募金も組合員から募り、1,300万円の善意の募金が寄せられました。4回で計110人の子どもたちが参加し北海道を楽しみました。北海道を満喫していただいたようで、「帰りたくない」「また来たい」との声が寄せられました。



**福島の子ども保養プロジェクト in 神奈川「神奈川県・三浦ふれあいの村」**(8月14~16日: 神奈川県生協連)

(担当者より) 国際協同組合年の本年、地域における協同組合提携を深めながら、また、「何か機会があれば私も協力したい」という多くの方の気持ちが集まり、今回の企画となりました。参加者は、8~12歳の子どもの福島の子どもたち29人、お手伝いいただいた方は約70人でした。子どもたちの喜ぶ姿を見て、改めて今後も支援を続けていきたいと、次回の春休み企画に燃えています。



**「おいでよ! かながわ」**(8月21~23日: 東日本大震災避難者連帯事業実行委員会(神奈川県生協連、連合神奈川、神奈川県労福協、Vネット、中央労働金庫神奈川県本部、全労済神奈川県本部))

(担当者より) 夏休みの楽しい思い出づくりをお手伝いする目的で実施しました。参加したのは福島県内の小学3~6年生までの子どもたち77人です。70人の教職員、学生ボランティアに協力いただき、涼しくなった夕方から定番のスイカ割りや花火大会を開催。キャンプファイアでは相模原市のゆるキャラ着ぐるみや地元歌手も飛び入り参加し、夜まで楽しく過ごすことができました。



**福島の子ども保養プロジェクト in 埼玉「動物園・サッカー観戦他」**(8月24~26日: パルシステム埼玉、さいたまコープ、生活クラブ生協、埼玉県生協連、医療生協さいたま、埼玉県ユニセフ協会)

(担当者より) 埼玉の魅力をいっぱい体験してもらおうと、サッカー観戦と東武動物公園、鉄道博物館の見学をしました。交流会では、ボランティアの学生との屋外ゲームや埼玉クイズ、花火大会で盛り上がりました。また、パルシステム埼玉・さいたまコープの食後のデザート作りも盛り上がりました。参加した親子78人は、夏休み最後の思い出をつくり、笑顔で帰途につきました。



**「ラストサマーフェスティバル in 蔵王」**(9月8~9日: コヨット! team 福大)

(担当者より) 福島大学では、毎週末行なわれている福島の子ども保養プロジェクトにもスタッフとして学生が参加しています。今回は、夏の特別企画として、福大生だけで企画・運営をしました。参加した小学校3~6年生の27人の子どもたちは、動物と触れ合ったり、キャンプファイアを楽しんだりして、スタッフと一緒にとても楽しい時間を過ごしました。



**福島の子ども保養プロジェクト in しずおか「富士山へ行こう! 遊ぼう!」**(9月15~17日: コープしずおか)

(担当者より) 自然の中でたっぷり遊んでもらおうと、福島県在住の小学校3~6年生22人を静岡県御殿場に招待。この企画のメインプログラム「ふじさんぽ」(富士山でお散歩の略)は、登るにつれ変化する自然の魅力と、下山時のダイナミックな「砂走り」が名物。子どもたちは、全身砂まみれになって富士山の自然を楽しみました。

